

2021年度大学入学者選抜改革について（予告第2報）

高千穂大学では、高大接続・学力の3要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の評価の観点から、大学入学者選抜改革に取り組んでおります。2019年5月の予告に引き続き、この度、以下の方針を新たに公表します。入学者選抜の日程、募集人数等の詳細については、今後、公表していきます。

1. 選抜区分の名称変更

- ・従来の「一般入試」、「AO入試」、「推薦入試」の名称を、それぞれ「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」に変更します。なお、留学生や帰国子女等を対象とした選抜の名称は検討中です。

2. 高等学校調査書等の活用

- ・総合型選抜（旧：AO入試）、学校推薦型選抜（旧：推薦入試）（指定校制、公募制）では、学力の3要素を総合的に評価するため、これまでと同様に、高等学校調査書を合否判定に利用し、かつ、高大接続を円滑にするため、入学後の指導に活用します。
- ・一般選抜（旧：一般入試）では、高等学校調査書を合否判定に利用しません。なお、高大接続を円滑にするため、入学後の指導に活用します。
- ・全ての選抜において、e-portfolio等の活動記録を合否判定に利用しません。諸記録の提供がある場合、高大接続を円滑にするため、入学後の指導に活用します。

3. 総合型選抜（旧：AO入試）における講座受講型学力検査の活用

- ・総合型選抜では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を適切に評価するため、これまで実施してきた講座受講型学力検査（講座受講と講座に対する課題作成）を、志願者全員を対象として活用します。

4. 学校推薦型選抜（旧：推薦入試）（指定校制、公募制）における学力検査の導入

- ・学校推薦型選抜（指定校制、公募制）では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を適切に評価するため、学力検査（小論文や口頭試問等）を導入します。

5. 一般選抜（旧：一般入試）における記述式問題の活用

- ・一般選抜（大学入学共通テスト利用）では、国語、数学を選択受験した場合、マークシート式問題に加えて記述式問題の成績も評価の対象とします。
- ・一般選抜（本学独自）の一部では、これまでと同様に、英語、国語ともにマークシート式問題に加えて記述式問題を出題します。

6. 大学入試センターが認定する英語外部検定試験の活用

- ・全ての選抜において、英語外部検定試験を出願要件として利用しません。
- ・一部の選抜では、英語外部検定試験を評価に活用します。ただし、大学入試センターが運営する大学入試英語成績提供システムは利用しません。

（上記の予告内容は2019年9月現在の予定であり、今後変更される可能性があります。また、本予告は2021年度入学者選抜に関するものであり、2022年度以降の入学者選抜については未定です。）

お問い合わせ先

高千穂大学 入試課 0120-012-816